

(2) 贈与税の申告書第一表の書きかた  
 贈与税の申告をする全ての人が使用する表です。

税務署長 殿		平成 <input type="text"/> <input type="text"/> 年分贈与税の申告書		F D 4 7 2 3		
提出用	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> (電話 <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> )	住所		税務署整理欄 (記入しないでください。)		
	フリガナ <input type="text"/>	フリガナ <input type="text"/>		整理番号 <input type="text"/>	名簿 <input type="text"/>	
事務 受 付 印	氏名 <input type="text"/>	氏名 <input type="text"/>		申告書提出年月日 <input type="text"/>	財産 <input type="text"/>	
	生年月日 <input type="text"/>	生年月日 <input type="text"/>		災害等延長期限 <input type="text"/>	細目 <input type="text"/>	
		職業 <input type="text"/>		出国年月日 <input type="text"/>	コード <input type="text"/>	
				死亡年月日 <input type="text"/>	関与区分 <input type="text"/>	
				訂正 <input type="text"/>		
				修正 <input type="text"/>		
				(単位は円)		
I 暦 年 課 税	贈与者の住所・氏名 (フリガナ) 申告者との続柄・生年月日	取得した財産の明細 種類 細目 利用区分・管轄等 数量 単価	財産を取得した年月日 財産の価額			
	住所	所在地 場所等	固定資産税評価額	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日		
	フリガナ 氏名	続柄	円 倍	円 倍		
	生年月日 明・大・昭・平 年 月 日					
	住所		円 倍	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日		
	フリガナ 氏名	続柄	円 倍	円 倍		
	生年月日 明・大・昭・平 年 月 日					
	住所		円 倍	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日		
	フリガナ 氏名	続柄	円 倍	円 倍		
	生年月日 明・大・昭・平 年 月 日					
財産の価額の合計額 (課税価格)			①	<input type="text"/>		
配偶者控除額 (右の事実に該当する場合には、 <input type="checkbox"/> 私は、今回の贈与者からの贈与について初めて贈与税の配偶者控除の適用を受けます。) (贈与を受けた居住用不動産の価額及び贈与を受けた金銭のうち居住用不動産の取得に充てた部分の金額の合計額) 円			②	<input type="text"/>		
基礎控除額			③	<input type="text"/>		
②及び③の控除後の課税価格 (①-②-③) 【1,000円未満切捨て】			④	<input type="text"/>		
④に対する税額 (申告書第一表(控用)の裏面の「贈与税の速算表」を使って計算します。)			⑤	<input type="text"/>		
外国税額の控除額 (外国にある財産の贈与を受けた場合で、外国の贈与税を課せられたときに記入します。)			⑥	<input type="text"/>		
差引税額 (⑤-⑥)			⑦	<input type="text"/>		
相続時精算課税分 (「暦年課税分」のみ申告される方は、⑧及び⑨欄の記入の必要はありません。なお、「相続時精算課税分」の申告をされる方は、 第二表「平成 年分贈与税の申告書(相続時精算課税の計算明細書)」を作成してください。)						
II	特定贈与者ごとの課税価格の合計額 (第二表「平成 年分贈与税の申告書(相続時精算課税の計算明細書)」の⑩の金額の合計額)			⑧	<input type="text"/>	
	特定贈与者ごとの差引税額の合計額 (第二表「平成 年分贈与税の申告書(相続時精算課税の計算明細書)」の⑮の金額の合計額)			⑨	<input type="text"/>	
III 合 計	課税価格の合計額 (①+⑧)			⑩	<input type="text"/>	
	差引税額の合計額 (納付すべき税額 (⑦+⑨)) 【100円未満切捨て】			⑪	<input type="text"/>	
	農地等納税猶予税額 (「農地等の贈与税の納税猶予税額の計算書」の⑨の金額)			⑫	<input type="text"/>	
	株式等納税猶予税額 (「株式等納税猶予税額の計算書(贈与税)」の3の④の金額又は「株式等納税猶予税額の計算書(贈与税)(別表)」の2の②の金額)			⑬	<input type="text"/>	
	申告期限までに納付すべき税額 (⑪-⑫-⑬)			⑭	<input type="text"/>	
この申告書が修正申告書である場合		差引税額の合計額 (納付すべき税額) の増加額 (⑪-第三表「平成 年分贈与税の修正申告書(別表)」の⑪)		⑮	<input type="text"/>	
		申告期限までに納付すべき税額の増加額 (⑭-第三表「平成 年分贈与税の修正申告書(別表)」の⑭)		⑯	<input type="text"/>	
作成税理士の事務所所在地・署名押印・電話番号						
				<input type="checkbox"/> 税理士法第30条の書面提出有 <input type="checkbox"/> 税理士法第33条の2の書面提出有		
				通信日付印 . . . 確認者 <input type="text"/>		

記号	欄	書きかた
①	「__税務署長」	住所地を所轄する税務署名を記入します。
	「__年__月__日提出」	申告書の提出年月日を記入します。
	「平成□□年分」	□□の中に「23」と記入します。
②	「住所」	住所、住所地の郵便番号及び電話番号を記入します。
	「氏名」及び「フリガナ」	申告をする人の氏名及びフリガナを記入します。
	「生年月日」	明治は「1」、大正は「2」、昭和は「3」、平成は「4」と記入します。 【例：昭和41年4月10日生まれの場合】 <div style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>           年           <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span>           月           <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span>           日         </div>
	「職業」	申告をする人の職業を記入します。
③	「住所」、「氏名」及び「フリガナ」	贈与者の住所、氏名及びフリガナを記入します。
	「生年月日」	元号に対応する文字を○で囲み記入します。 【例：昭和17年4月27日生まれの場合】 明・大・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">昭</span> ・平 17年4月27日
	「続柄」	申告をする人からみた贈与者の続柄を記入します。
④	「種類」、「細目」及び「利用区分・銘柄等」	贈与を受けた財産について、21ページの表により、各財産の種類と細目を記入し、その財産の種類と細目に応じた利用区分や銘柄等を記入します。
	「所在場所等」	各財産の所在場所等を記入します。この場合、次に掲げる財産については、それぞれ次の事柄を記入します。 イ 売掛金・・・相手方の住所、氏名又は名称 ロ 船舶・自動車・・・登録機関の名称と登録番号 ハ 有価証券・・・発行法人の所在地と名称 なお、公債及び上場有価証券で保護預り、保証金の代用、担保などとして提供されているものについては、その提供先証券会社などの所在地と名称 ニ 預貯金等・・・預金、貯金、金銭信託については預入先店舗などの所在地と名称 ホ 生命保険金・・・支払保険会社の所在地と名称 ヘ その他の債権・・・債務者の住所又は所在地、氏名又は名称
	「数量」	面積、株数などを記入します。
	「単価」	1平方メートル当たり、1株当たりなどその財産の単位当たりの価額を記入します（固定資産税評価額を基として評価する土地と家屋については記入を要しません。）。
	「固定資産税評価額」	固定資産税評価額を基として評価する土地及び家屋の固定資産税評価額を記入します。
	「倍数」	固定資産税評価額を基として評価する土地及び家屋について、固定資産税評価額に掛ける一定の倍率を記入します。
	「財産を取得した年月日」	贈与を受けた年月日を記入します。
	「財産の価額」	贈与を受けた財産の価額を記入します。